一般質問

30名の議員が市政に関する一般質問を行いました。
２次元コードから各議員の中継映像がご覧いただけます。



初雁自由政令会 江田 崇

利用者目線で改修促進を　1

問不透明な新球場建設を理由に初雁球場の改修をためらう姿勢を見直してほしい。今後の維持管理の見解を市長に伺う。

答市長　初雁公園野球場は、長年にわたり多くの市民に親しまれてきた施設であり、大切なスポーツ施設の一つであると認識している。初雁公園については、城址公園として整備する方向性が示されているが、具体的な計画には着手していない。本市における野球という文化を将来につなげていく事も必要と考えているため、野球関連団体と関係が深い文化スポーツ部との連携も踏まえ、楽しく安全に利用できるよう維持管理していきたい。

質問 初雁球場



初雁自由政令会 小林範子

外国籍市民へのマナー講座　2

問外国籍市民にごみの分け方・出し方、交通ルールなど、日本で暮らすマナーや生活習慣を習得する講座を拡充し、地域とのコミュニケーションの機会を増やす施策を伺う。

答文化スポーツ部長　ルールやマナーの習得は、住民間トラブル防止に不可欠であると認識しているため、オンライン講座の開催も含めて研究していく。

　併せて、地域でコミュニケーションを取ってもらえるよう、外国籍市民向け生活ガイドブックや、難しい言葉を易しい言葉に言い換えるなど相手に配慮したやさしい日本語を周知していく。

質問 川越市駅周辺まちづくり　質問 外国籍市民の日本語教室



初雁自由政令会 小高浩行

入間川湾曲部の樹木伐採　3

問入間川などの河道の掘削や樹木の伐採等については国や県に要望してもらいたいが、市費において入間川湾曲部の竹やぶなどの樹木伐採だけでも早急にできないか。

答建設部長　入間川などの維持管理は、河川管理者である国や県が河川整備計画に基づき、出水による河岸洗堀、流下の阻害となる土砂堆積、樹林化の進行等に対し、適切に維持管理するものである。市としては、流下の阻害になるような土砂の堆積や樹木伐採について、国や県と市が河川管理者間の連携を深めるための情報として提供するとともに、適切に維持管理が図られるよう働き掛けていく。

質問 入間川流域の水害対策　質問 児童生徒のネットＳＮＳ



初雁自由政令会 牛窪喜史

頻発する自然災害に対して　4

問市民が安全安心に暮らせるように、頻発する自然災害に対して市が取り組むべき対策について伺う。

答危機管理監　市が平時から避難場所や避難所の確保、環境整備、備蓄品の拡充などの対策を進める他、職員の災害対応力の向上を図ることは重要である。このため、避難所のトイレ対策や、避難者の特性に応じた備蓄、災害協定の締結、実効性のある訓練の実施に取り組んでいきたい。また、自助、共助を促進する取り組みとして、自治会や自主防災組織への支援の継続、市民参加型の訓練や防災イベント、防災講話の拡充など、市民の防災意識の向上につながる対策についても進めていきたい。

質問 クビアカツヤカミキリ　質問 自然災害の取組



初雁自由政令会 小島洋一

福原地区道路の安全性向上　5

問市内の舗装修繕の要望・陳情について、優先順位付けをどのように行っているのか伺う。

答建設部長　市道については、市内道路網の骨格を担う幹線道路と地区内の生活を支える生活道路があり、路線の位置付けに応じた優先順位の考え方もあるが、一般的には、舗装の状態、交通量、通学路、修繕履歴、修繕範囲などを調査・検討しながら、緊急性および実施時期の見込みを含めて優先順位付けを行っている。



質問 広聴課の取り組み　質問 福原地区の舗装修繕



川越志政会 松本きみ

子育て支援の現状と今後　6

問乳児のいる家庭の多様なニーズに対応するため、市と民間との連携について、どのように取り組んでいくのか。

答こども未来部長　本市では、子育て支援に取り組む民間の団体等と日頃から情報共有を図るとともに、母子保健連絡調整会議などを通じて、顔の見える関係を築き、連携を進めている。今後も、子育て支援に取り組む民間の団体等と情報共有を図り、それぞれの支援内容や役割について、互いに理解を深めていくことが大切であると考えている。その上で、互いの専門性や強みを尊重し合い、市と民間がそれぞれの立場から子育て家庭を支えていけるよう、連携強化を図っていきたいと考えている。

質問 子育て支援の現状と今後